

令和8年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和7年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立北図書館	施設所管課	教育委員会 中央図書館
施設住所	尼崎市南武庫之荘3-21-21	竣工	S54.6.1（築満46年）
設置目的	〔図書館法第2条〕図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資すること		
主な事業内容	読書推進のための、図書、記録その他資料の貸出・返却処理を含む管理業務および事業の計画・実施		
指定管理者名	株式会社図書館流通センター	指定期間	自 R8.4.1 至 R12.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	☐ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他（ ）

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

事業の実施に当たっては、読書を通じて地域住民の学びに対する関心を向上させ、日常生活をより豊かなものにする目的のもとに、「尼崎市立図書館基本的運営方針」を意識しながら、より効果的に実施していく。

実施結果

利用者の増加に向け、図書館運営を積極的に行い、利用者にとって利用しやすい図書館運営を行うとともに、安定的に図書館運営業務を実施している。季節に応じた図書の特集を始め、地域や学校との連携や、読書推進に係る事業を実施し、振り返りや改善を行いながら、貸出冊数や来館人数の目標に近づけようと日々努力をしている。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

有効性

指標①：貸出冊数（単位：冊）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	659,469	730,583	801,397	872,211	943,025	1,013,839
実績	-	-	-	-	-	596,540	573,802	582,807	528,661	524,687	
達成度	-	-	-	-	-	90%	79%	73%	61%	56%	
評価	-	-	-	-	-	△	△	△	△	△	

指標②：来館者数（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	322,942	337,059	351,176	365,293	379,410	393,527
実績	-	-	-	-	-	236,904	250,545	260,688	229,407	251,651	
達成度	-	-	-	-	-	73%	74%	74%	63%	66%	
評価	-	-	-	-	-	△	△	△	△	△	

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している。○目標を（概ね）達成した。△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

全ての利用者が安心かつ快適に図書館が利用できるよう図書館運営を行っていく。利用者のニーズを汲み取り、一人ひと丁寧な対応を心掛ける。地域との連携を十分に取ながら積極的に図書館運営を行う。

実施結果及び評価

事業の実施に当たっては、参加者が多い事業では、利用者に安心して参加してもらえるよう心掛けている。また、子どもの読書週間行事、図書館調べ隊や図書館を使った調べる学習コンクールなど、地域の学校との連携を深める取り組みも積極的に行っている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること（グリーン購入）を検討する。また、不要な電気の消灯、適切な空調管理、マイボトルの持参に努める。

効率性

実施結果及び評価

空調管理において、利用者にとって快適な空間を意識しつつも、室温を確認しながら都度ON、OFF切り替えを行うなど、令和3年度環境監査の指摘以降、環境に配慮した取り組みを実施している。また、修繕の際は相見積りを取るなど、効率的・経済的に指定管理料を運用している。

○

◎高水準で両立している。○両立している、△両立しているとは言いえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	104,690,000	104,690,000	0	人件費	72,860,000	73,237,414	-377,414
			0	光熱水費	6,500,000	7,477,050	-977,050
			0	修繕費等	7,020,000	6,336,397	683,603
			0	施設維持管理運営費等	18,310,000	18,602,886	-292,886
収入計	104,690,000	104,690,000	0	支出計	104,690,000	105,653,747	-963,747

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	読書を通じて地域住民の学びに対する関心を向上させ、日常生活をより豊かなものにする。北図書館としての効用を最大限発揮させるものであるか、管理を安定して行う能力を有しているものであるか。
指定管理者自身が設定した目標	地域から愛される図書館

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	読書を通じて地域住民の学びに対する関心を向上させ、日常生活をより豊かなものにする。					
目標	北図書館のカウンター職員への対応として「満足」「まあ満足」と答えた割合（利用者アンケート）					
指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
目標値	90%	90%	90%	90%	90%	地域住民に親しまれる公共施設として
実績値	88%	89%	90%	85%	98%	支持されていることがわかる。

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	毎月定例会を開催し、月次報告の他、互いの問題点や利用者からの様々な申し出等も共有できる協議の場を持っており、細かな事務でも、不明な点はすぐ連絡して相談できる体制も構築できている。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	利用者が安心かつ快適に図書館を利用できるように取り組んでいる。中央図書館及び北図書館の利用者からの意見や懸念事項等も、毎月の定例会で共有して改善に努めている。また、中央図書館と北図書館の共催事業である「図書館を使った調べる学習コンクール」は、応募者が増加しており、引き続き共に読書推進活動に尽力していく。	
パートナーシップ	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	展示や各種イベント等、これまでの事業を継続するとともに、新規事業を実施し、市民の読書推進に取り組んでいる。また、新館移転計画に関しては、現事業者として市と連携し、情報の共有・提供や市民への周知を行った。利用者アンケート等において、トレをはじめとする施設修繕に関する要望が多く寄せられている。市と協議のうえ、移転までの期間において対応が必要かつ優先度の高い事項を精査し、順次対応していきたい。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	図書館事業の実施など、積極的にやっているところは評価できる。電子図書館の普及や、来館者数、貸出冊数が目標を下回る状況が続いていることから、利用者に好評である既存の事業に加え、引き続き新しい取り組みを実施し、さらに幅広い世代の利用に繋がるようにしていきたい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	物価や人件費の上昇に加え、施設の老朽化による修繕に追われる厳しい状況下であるが、日々多くの来館者が訪れる施設であるため、今後も既存の利用者に快適な空間とサービスを維持しつつ、新たな利用者開拓に向けた事業の実施とサービス向上に努め、引き続き市民に親しまれる図書館運営を行っていく。また、新図書館の整備を着実に遂行していくため、より連携を密にしていこう。	